

3M 製品説明書

1999年9月

スコッチカルTM エッジシーラー 3950

1. 特徴

スコッチカル印エッジシーラー3950は、スコッチカルフィルム施工後の端部からの変色や剥離を防止するためのシーラーです。

2. 性状

名称 : アクリル系シーラー
主溶剤 : キシレン
固形分 : 30～60%
外観 : 透明液状
容量 : 237ml

3. 使用方法

1) 表面処理 :

スコッチカルフィルム施工後、塗布部分に汚れ、水分・油分等が付着していないことを確認してください。これらが付着していた場合には、十分に除去した後塗布してください。

なお、基材がプラスチック、塗装面等の場合、エッジシーラーの塗布により表面が侵される場合があるので、事前に確認を行ってください。

2) 塗布方法 :

付属の刷毛(蓋の内側に付属)あるいは筆等により、均一な厚さ、幅で塗布してください。

厚さは1mm程度、幅はフィルム側・基材側とも3～5mm程度を目安としてください。

なお、不要部分にエッジシーラーを付着させないよう十分に注意してください。

3) 乾燥時間 :

塗布後、常温にて24時間以上乾燥させてください。ただし、乾燥時間は気温、塗布量等によっても異なります。

4 . 使用範囲

* 適用対象フィルム

スコッチカルフィルム全般（印刷加工品を含む）
スコッチプリント・イメージグラフィックス全般
インクジェット・イメージングメディア全般

* 3950 エッジシーラーは、通常 下記のアプリケーションにご使用ください。

特にフリート用途等で、外的要因（洗浄等）によるフィルム端部からの剥離が懸念される場合。
粗面へのアプリケーション等で、フィルム端部からの水の浸入等が懸念される場合。

メタリックシリーズ（ミラータイプ）の金属蒸着層の消失（酸化）を防止する用途として。

インクジェット・イメージングメディアを屋外で使用する場合の、フィルム端部からの水の浸入を防止する用途として。

その他 端部からの剥離（捲れ）が懸念される場合。

（ただし、フィルム自体の接着力が不十分な場合には、エッジシーラーによって剥離を防止することはできません。）

5 . 注意事項

- 1) 蓋を開放した状態で 長時間 放置しないでください。エッジシーラーに含まれる溶剤分が揮発して 乾燥してしまったり、極端に粘度が高くなってしまいう可能性があります。
- 2) 開缶後は できるだけ早くご使用ください。
- 3) 使用後に 缶の口にエッジシーラーが付着したまま蓋を閉めると、次の使用の際に 蓋が開けにくくなるので、ウエス等できれいに拭き取ってから蓋を閉めてください。
- 4) 溶剤分の揮発により 初期に比べて粘度が 著しく高くなった場合には、キシレンを少量加え、良く攪拌してください。ただし、必要以上に希釈すると エッジシーラーとしての効果が低下するので、希釈は 塗布作業が困難になった場合のみ 行ってください。
- 5) 使用環境によっては、エッジシーラー塗布部分は フィルム部に比べ、長期間使用後の変色(黄変)や 汚れの付着の程度が大きくなる場合があります。
- 6) 本製品の取り扱いについての詳細は、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。
なお 本製品は引火性があるため、特に火気には十分注意してお取り扱いください。

6 . 保存方法

乾燥した冷暗所にて 保存してください。ご購入から 1年間の保存が可能です。

なお、開缶後は 蓋をしっかりと閉め、同様の環境にて保存してください。